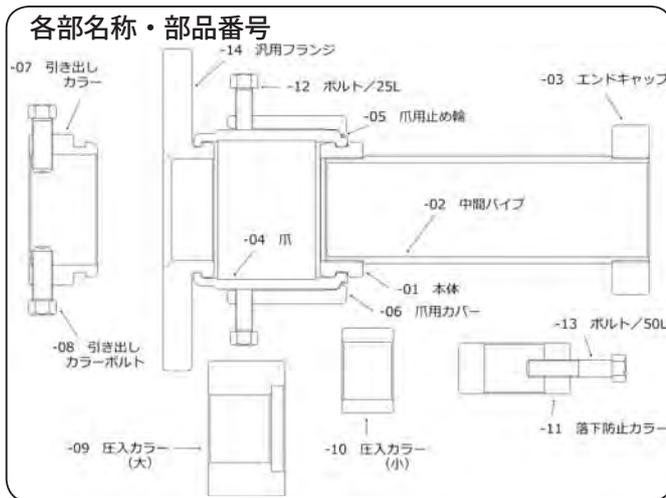
2014 年 10 月発行 No.MRBP-869S-M4

取扱説明書

HRBP-869S リアシャフトベアリングプーラー

　この度は、HRBP-869S のお買い上げ誠にありがとうございます。本ツールは、普通乗用車～小型トラックのリアシャフトベアリングおよびリテーナーの抜き取り作業が、油圧プレスを使用して行えるツールです。
　正しく、安全にご使用いただくため、作業前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を遵守してご使用ください。また作業時にメーカーの整備要領書を用意し、注意事項、基準値、作業ポイントなどは、メーカー指示に従って作業を行ってください。また、作業時には本書を手元に用意し確認しながら作業を行ってください。
紛失された時は、販売店または当社業務 G 宛てご請求ください。

各部名称・部品番号

-07 引き出しカラー
-14 汎用フランジ
-12 ボルト／25L
-05 爪用止め輪
-03 エンドキャップ
-02 中間パイプ
-04 爪
-01 本体
-06 爪用カバー
-13 ボルト／50L
-08 引き出しカラーボルト
-11 落下防止カラー
-09 圧入カラー（大）
-10 圧入カラー（小）

◆◆◆◆◆　使用方法・取扱上の注意事項　◆◆◆◆◆

<!> 本工具の使用には、15t 程度の油圧プレスが必要です。
　油圧プレス使用上の注意を遵守してください。
<!> ベアリングに、直接爪をかけて抜こうとすると、アウターレースが割れる危険があります。必ず先にリテーナーを抜いてください。
<!> ハイラックスなどの一部は、リテーナーが薄く、ABS センサーロータに干渉して、引き出しカラーがセットできないものがあります。この場合は、ABS センサーロータに、直接爪をかけて抜いてください。
　この部品は、交換指定品ですので、再使用はしないでください。
<!> 圧入カラーは、全サイズに適合しません。現品のサイズに合わせて、お手持ちの適当なカラーをご用意ください。
<!> リテーナーの圧入には、150℃程度の熱をかけて、焼き嵌めするよう指示のあるものがあります。必ず実車の整備要領書を確認し、注意事項に従って作業してください。
<!> ビックホーンなど、一部車種にはオプションパーツが必要です。
　また、軽自動車はベアリングサイズが小さいため、爪のかけられない車種があります。

※ ハイエース (200 系) の場合は、HRBP-869S-08 (引き出しカラーボルト) は使用せず、リアスキッドコントロールロータに直接爪をかけて、リテーナー (INNER LH/ インナー側) を一緒に引き抜き後、リアアクスルシャフトスナップリング LH を取り外し、リテーナー (INNER LH/ アウター側) は、ナット (M10 × P1.25）で HRBP-869S-14(汎用フランジ) をセットして引き抜いてください。
また、作業時にメーカーの整備要領書を用意し、注意事項、基準値、作業ポイントなどは、メーカーの指示に従って作業を行ってください。

リテーナー抜き取り (露出タイプ)

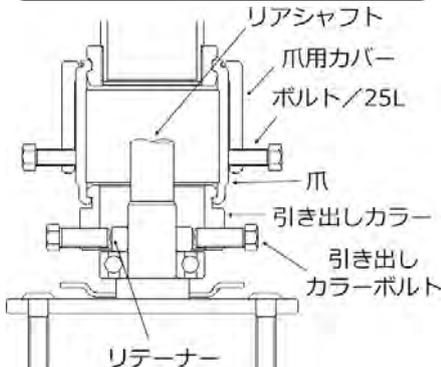



図 2

1, 引き出しカラーのボルト 6 本を、
　十分にゆるめておき、リテーナーにかぶせます。
2, 引き出しカラーがセンターかつ水平にセットされるよう、
　交互にバランスよくカラーカラーボルトを
　しっかり締め付けます。(60N－m 以上) (図 1)

<!> 締め付けトルク不足は、
引き出しカラーボルトが破損します。
目一杯締めてください。

3, 本体 ASSY 爪部を、引き出しカラーのツバにかけ、
　爪用カバーをかぶせます。
　この時、爪用カバーのボルトが、
　爪のセンターを押せる位置に合わせてください。(図 2)
4, 爪用カバーのボルト 4 本を、軽く左右均等に締め付けます。
　その後、リアシャフトが中間パイプの
　センター位置にあることを確認します。

<!> ズレている場合は、2, からの作業を再確認します。

5, エンドキャップをしっかり取り付け、落下防止カラーを
　リアシャフトに通して、リテーナーの厚み分程度、
　エンドキャップより離した位置に固定します。

<!> 強く締めすぎるとシャフトに傷が付きますので
注意してください。

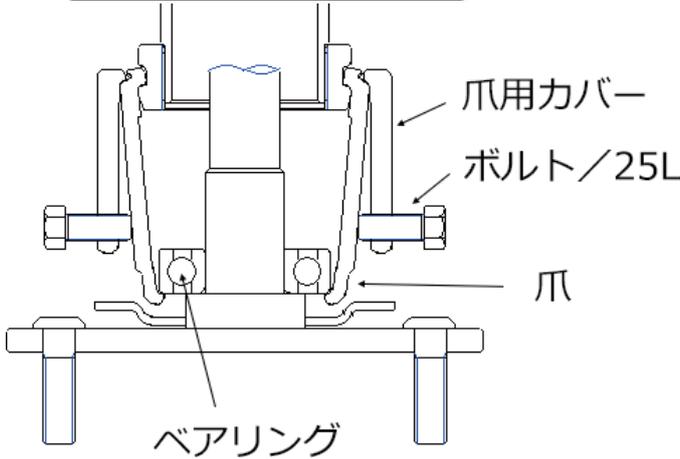
6, 油圧プレスの当て座に、エンドキャップをかけて、
　リアシャフトにゆっくりと圧力をかけて押し抜きます。
　リテーナーは固い物で 12t ～ 15t の圧力がかかります。
　(図 3)

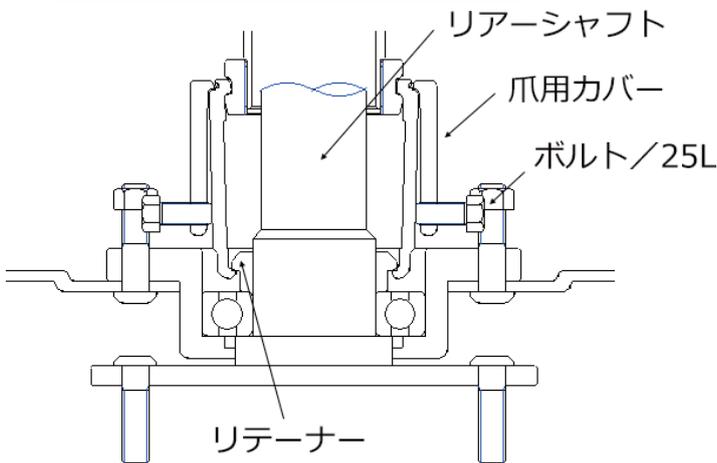
図 1

図 3

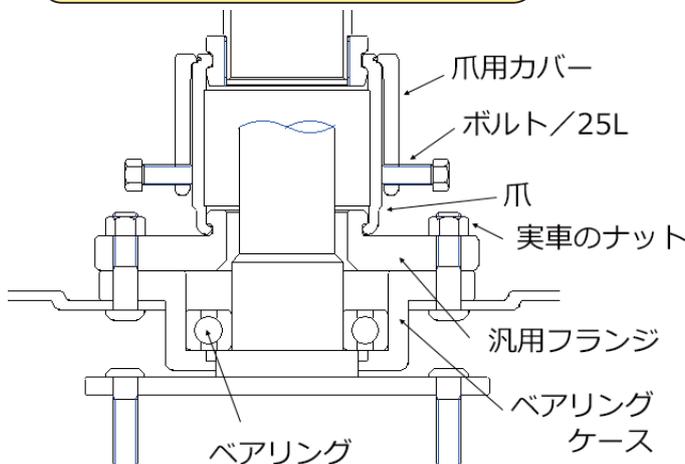
○部品をご注文の際には、HRBP-869S- の後ろに部品図に記載されている番号をご記入の上、本セットをご購入された販売店にお申し込みください。HRBP-869S-08(引き出しカラーボルト) は消耗品です。先端部が摩耗してきたら、必要本数分の補修部品をお求めください。

発売元：株式会社 ハスコー　業務 G　〒 351-0012 埼玉県朝霞市栄町 3-6-45
TEL (048)461-0101　FAX (048)461-1177　　URL http://www.hascotools.co.jp

リテーナー抜き取り (露出タイプ)

7, リテーナー抜き取り後、引き出しカラーを外し、
　爪を直接ベアリングの底部にかけます。
<!> ベアリングに引き出しカラーボルトは使用できません。
　ベアリングレースに引き出しカラーボルトを締め付けると、
　ボルトおよびベアリングが破損します。
8, 以降、リテーナーの抜き方 3, ～ 6, の手順を繰り返し、
　ベアリングを抜き取ります。

リテーナー抜き取り (ツバ付きタイプ)

1, リテーナーのツバ部に、爪をかけます。
　この時、ベアリングケースから出ているボルトの位置に、
　爪 4 枚の各すき間位置を合わせます。
　(車種によりスペースの問題で、爪用カバーの外周溝部に
　　ボルトを逃がす必要があるため。)
2, 以降、リテーナー (露出タイプ) の抜き方
　3, ～ 6, の手順を行い、リテーナーを抜き取ります。

ベアリングの抜き取り (ケースタイプ)

図 1

3, ベアリングケースのボルトに汎用フランジの穴または溝を合わせて、
　実車のナットでしっかり締めつけてます。(図 1)
4, 以降、リテーナー (露出タイプ) の抜き方 3, ～ 6, の手順を行い、
　リテーナーを抜き取ります。